

忘れられない瞬間と言えば多くの人は幸せな瞬間を思い出すと思います。しかし、私は違います。私の忘れられない瞬間は友達が亡くなった時です。

当時私は12歳でした。私と彼は慈善団体(じぜんだんたい)のボランティア活動で会いました。ある日、彼は私を映画に誘ってくれました。しかし、その時私はとても忙しく、1時間さえ映画に使うことはできなかったので彼と出かけることはできませんでした。彼は一人で映画を見に行きました。そして、自動車事故のために一生帰りませんでした。これは5年前のことです。後悔と利己的な気持ちは今でも私を悩ませています。

新しい携帯電話を手にするたび、彼の番号を連絡先に追加してしまいます。こうしてしまうのは彼を愛する気持ちから、というよりは後悔の気持ちからというほうがあっているでしょう。私は彼を失うまで彼の大切さに気づくことができなかったのですから。

私は彼を愛していると言ったことは一度もありませんでした。彼は私より2歳年上でした。私より先にこの世に生まれました。でも、今は私がいなく世界に行ってしまいました…もう一緒に居られないのですから、…寂しいです。彼は生前「一人で死ぬのが怖いんだ」と言っていました。あの事故で彼がどれほどの孤独と恐怖の中にいたかを想像すると、自然と彼の気持ちがわかってしまいます。

いつか、当たり前だと思っていた日常がたまらなく恋しくなってしまいます。「大切な人にいつでも会えて、いつでも話すことができる。」それは当たり前ではありません。人はいつか死んで、居なくなってしまう。すべきことをしないと大切な人を亡くした時、絶対に後悔してしまいます。だから、大切な人をちゃんと大切にしよう。伝えたいことをちゃんと伝えよう。傷つけたらちゃんと謝ろう。そして大切な人と十分な時間を過ごそう。そうすれば後悔しないはずで